

## Capital Products & Review

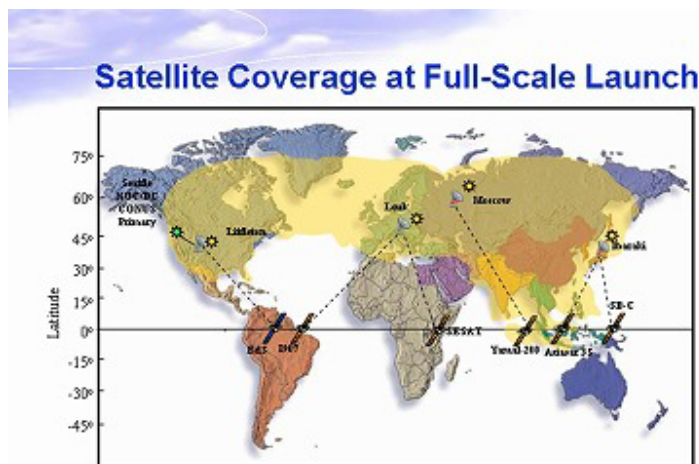
### Connexion by Boeing<sup>SM</sup> 機内高速インターネットサービス

Connexion by Boeing<sup>SM</sup>

<http://www.connexionbyboeing.com>

Connexion by Boeing<sup>SM</sup> (コネクション・バイ・ボーイング) は、2004 年 5 月から航空機内での高速インターネットの商用化サービスを提供しています。同インターネットサービスは、14~14.5 ギガヘルツ周波数帯域で Ku バンド衛星トランスポンダを使用した航空移動衛星業務 (AMSS) の一つとして、世界の通信事業者の認可を得ています。

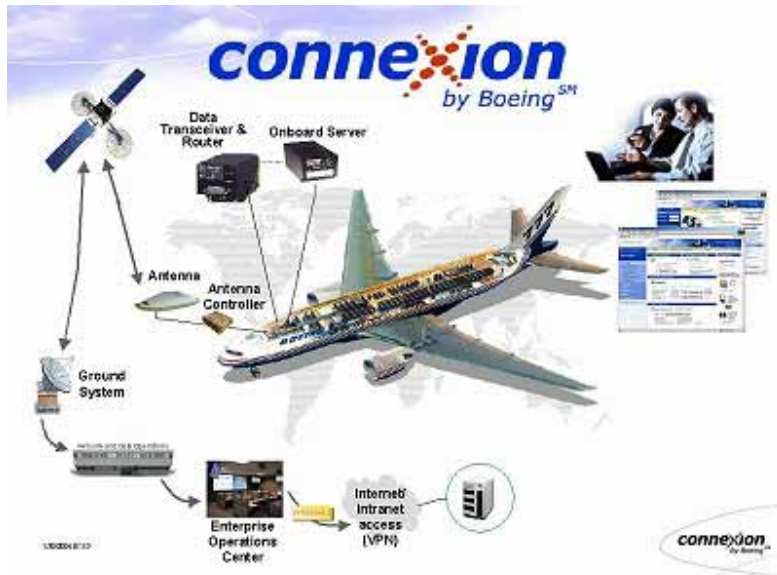
旅客はコネクション・バイ・ボーイングのサービスを利用することで、機内においてインターネットおよび無制限仮想私設網 (VPN) への接続が可能となり、ファイルを添付したメールの送受信やインターネット上での動画および静止画の閲覧、ならびに社内イントラネットへのアクセスなどができるようになります。データ転送速度は家庭やオフィスにおける DSL 接続と同等です。また同インターネットサービスは現在、音声通話サービスの試験段階に入っています。



コネクション・バイ・ボーイングは、2004 年 5 月 17 日にドイツのルフトハンザ航空のミュンヘン - ロサンゼルス線において機内高速インターネットサービスの提供を開始しました。2004 年 6 月にはミュンヘン - 東京路線でのサービス提供も開始されるなど、同航空の機内ポータルである「FlyNet (フライネット)」を介したコネクション・バイ・ボーイングの利用者は着実に増加しています。2004 年第 4 四半期には、全日本空輸 (ANA) および日本航空インターナショナル (JAL) も同サービスの提供を開始する予定です。

コネクション・バイ・ボーイングのサービス仕様は、各航空会社のニーズに合わせて設計されます。RJ-45 ケーブルあるいは機内エンターテインメント (IFE) システムを経由した有線接続でのサービス設計も可能ですが、ベースとなるシステムには、地上のホット・スポットと同様のワイファイ無線接続も組み込まれています。旅客は 802.11b ワイファイ規格に適合するノートパソコンや PDA などの端末を利用し、同サービスを利用す

ることができます。ログインを済ますと、自動的にユーザー登録やサポートセンターへのリンクなどのメニューがあるポータルサイトへ移動します。そこで、料金体系や決済方法（クレジットカード番号もしくはNTTドコモのようなコネクション・パイ・ボーイングと提携するサービス・プロバイダーのアカウント番号からの料金引き落とし、など）を入力すると、インターネットおよびVPNに接続されます。



機内での書類のレビュー、電子メールの送受信、旅行アレンジなどが機内にいながら可能となることなどから、旅客とりわけビジネス客は、コネクション・パイ・ボーイングのインターネットサービスの有用性を高く評価しています。またコネクション・パイ・ボーイングのサービスは、旅客だけでなく、航空会社にも様々な価値を提供しています。航空会社はリアルタイムでのメンテナンス、

客室や貨物室の安全確認、乗客名簿および個々の健康状態の確認ができるばかりか、機内エンターテインメントの内容を容易に変更することができるようになります。コネクション・パイ・ボーイングのサービス導入は民間航空機業界から始まりましたが、同サービスは現在、ロックウェル・コリンズ社との協力によるビジネスジェット向けのサービスの開発やティーケイ・シッピング・コーポレーション所有の石油タンカーへのサービスの試験提供など、他の業界にまで拡大しています。

コネクション・パイ・ボーイングのサービスを支える機器には、三菱電機株式会社が開発した航空反射鏡アンテナや付随するサーバー、ルータ、そしてワイヤー、ならびにネットワーク・オペレーション・センターやエンタープライズ・オペレーション・センター、衛星とのデータ通信用機器に代表される地上システムなどがあります。さらに、衛星に搭載するトランスポンダなどもあり、これら機器は今後航空会社のニーズに合わせて拡大していくことでしょう。コネクション・パイ・ボーイングのサービスが世界中どこでも受けることができるようになるのは、需要にもよりますが、2006年から2007年になる予定です。

上記の航空会社の他にも、コネクション・パイ・ボーイングは政府専用機やプライベート・ジェット、スカンジナビア航空と同サービス導入に関する最終契約を、シンガポール航空や大韓航空、アジアナ航空、中華航空と暫定合意を締結しています。

コネクション・パイ・ボーイングのインターネットサービスの料金は定額料金制と時間料金制の2種類から選択可能で、料金はフライト時間によって決まります。定額料金制の場合はフライト時間が、6時間以上が29.95ドル、3時間から6時間までが19.95ド

ル、そして3時間未満が14.95ドルです。時間料金制の場合は、フライト時間によって最初の30分の料金が7.95ドルから9.95ドルの範囲で決められ、以降1分単位で0.25ドル加算されます。ただし、シーメンス社のように法人契約を締結した企業の社員が出張で同サービスを利用した場合には、割引価格が適用されます。

また、コネクション・バイ・ボーイングの提携プロバイダーを利用する際には、プロバイダーが設定するローミング価格が適用されます。例えばNTTドコモのアカウントを利用する場合は、6時間以上のフライトで3,700円、3~6時間のフライトで2,500円、そして3時間未満のフライトで1,900円となります。